

「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」と展示会 による史料の活かし方

蒲生英博

名古屋大学附属図書館医学部分館

デジタルアーカイブ；展示会；近代医学；医史学；名古屋大学

1. はじめに

名古屋大学医学部史料室は、医学部図書館4階にあり、名古屋大学医学部の歴史は元より、広く医学史、医療史に関連する古医書、歴史的医療器具、写真等を収集、保存、展示している。普段は公開していない医学部史料室の所蔵品を、有効活用するために、2010年から計画的に取り組んできた「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」と展示会の実践例を報告する。

2. 「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>

「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」は、2010年10月にプロトタイプを公開後、2011年12月から正式に公開している。WWW検索エンジンによる利用のほか、デジタルアーカイブ内では、時系列による史料一覧、西暦検索、史料名検索、形態検索により、史料のメタデータ、関連画像、関連リンクが利用できる。さらに、文書・図書などは、デジタルブックとして全文を読むことができる。



このデジタルアーカイブの目的、予算は無く科研費など補助金を活用していること、企画から雑務までの業務内容、広報の方法、及び公開に伴う波及効果などを報告する。

3. 企画展示会

企画展示会は、2012年9月を第1回として、2014年7月時点で第7回目を開催している。デジタルアーカイブと連動するものである。

この企画展示会の目的、予算は無く学外の補助金を活用していること、企画から雑務までの業務内容、広報の方法、及び開催に伴う波及効果などを報告する。

4. 今後の展開

デジタルアーカイブは、海外からの利用もあるため、英語化を計画している。

企画展示会は、持続的な開催ができるように、学内外の類縁機関との連携を構想している。また、各展示会の展示品のキャプションをまとめて、医学部史料室の所蔵品図録の発行を計画している。